

社協だより

会長挨拶



社会福祉法人
河内長野市社会福祉協議会
会長 玉崎和実

この度、溝端前会長の後任として、令和5年6月23日の理事会で、会長に就任いたしました玉崎和実でございます。

これまでの河内長野市の地域福祉の推進に大きな役割を果たしてきた社会福祉協議会（以下「社協」）の重責を担うこととなり、身の引き締まる思いでございます。微力ではございますが、地域共生社会の実現のため、誠心誠意取り組んでまいり所存でございますので皆様のご指導のほどよろしくお願いいたします。

河内長野市では介護、障がい、子育て、生活困窮といった分野別の相談体制では解決に結びつかないような「くらしの困りごと」に対応するため、市全体で「分野を問わない相談支援」、「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施することとなり、社協はその中核的な役割を担うこととなります。

このことを強く「我が事」として受け留め、職員とともに事業運営に取り組んでまいり所存でございます。

市民の皆様のより一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

\市町diary/ 楽園やday

みんなで育てた野菜で カレーを作ろう

CSW（地域の相談員）が、昨年から取り組んでいる参加支援事業をご紹介します。

CSWには、住民の皆様から様々な相談が寄せられます。その中には、本当は社会とのつながりを持ちたいけれど、色んな理由があり、つながれない方がおられます。

そこで、私たちCSWが居場所



を提供することで、個々の対象者のニーズに合わせた支援ができるようにし、社会参加へのハードルを下げて、第一歩を踏み出しやすくすることにしました。市町diaryを利用して、参加者みんなで野菜を育て、その野菜でカレーを作る「楽園やday」を始めました。

楽園やdayの成果と今後

実際に、参加いただけるか不安の中での開催でしたが、たくさんの方が参加して下さって成果を感じています。次回の開催を楽しみにして下さっている方や、事業の趣旨に共感し協力して下さるボランティア、興味を持って下さる方と一緒に、皆様の楽園となるようこの取り組みを続けていきます。

☒相談支援課



地域の 人と人のつながりを 大切に!

その2

川上地区福祉委員会

設立 2002年 福祉委員 61人

特徴

川上地区福祉委員会は、中山間部と新興住宅が合わさった9つの地域からなる地区です。ひとり暮らし・高齢者宅へ訪問して近況を伺う友愛訪問やサロン活動などに取り組み、顔の見えるふれあいの関係づくりを進めています。

高齢者を対象に、各地域でふれあいサロンやミニサロンを開催しています。新型コロナウイルスの影響で、開催できない時には、友愛訪問を工夫するなど、つながりが途切れないようにしました。コロナ禍の友愛訪問時に「インターホン越しに話しましょう」と伝えても、自宅から出てきてくださる方がいるなど、交流を楽しみにしてくれている人も多く、ある地域では、自治会館が使用できる状況であれば、感染予防対策をして、ミニサロンを開催していました。



子育てサロンの様子



また、子育てサロンでも、お母さんと子どもたちが孤立しないように、ジョイントマット、おもちゃをすべて消毒するなど、十分に感染予防対策をしながら開催していました。

また、ある地域では小学生から高齢者までの参加者が卓球を通じてつながるサロンを開催するなど、各地域の状況に応じて工夫をしながら活動に取り組んでいます。

さらに、住み慣れた地域で最後まで安心して暮らすために、福祉や医療などの専門機関と連携した取り組みを進めています。



▲卓球を楽しんでいます▼



同時開催

つながりフェスタ 展示の部

令和5年8月21日(月)~27日(日)
10:00~15:00

ボランティア体験プログラム

市民活動編 & 福祉施設編

開催します!

かわちながのボランティア・市民活動センターが主催し、市民の方やセンター登録団体の間につながりをつくっていくことを目的に開催する『つながりフェスタ』。8月はパネルや展示物によって活動紹介を行う「展示部」の開催です。

同時開催のボランティア活動を体験する試みを提供する「ボランティア体験プログラム」では、センター登録団体による体験プログラムに加えて、市内の福祉施設の現場を体験するプログラムを企画します。詳しくは、市の8月広報をご覧ください。



6月17日(土)に
ステージの部
開催しました

かわちながの消費者協会が主催する 「第33回生活情報展」に参加しました

令和5年3月3日(金)~4日(土)
10:00~16:00



市民に向けて、生活の上で有益な情報を発信している年に一度の催しで、ボランティア・市民活動センターが市民の方に向けて提供できる情報やサービスについて紹介するパネル展示を行いました。様々なボランティア活動・市民活動を行っている団体の方に、広くセンターについて知っていただくことで、より活発な活動へ、新たなつながりの一助になりたいと考えています。



センターに登録しませんか

かわちながのボランティア・市民活動センターでは、ボランティア活動や市民活動の広報をはじめとして様々な形でサポートする登録制度があります。登録団体(令和5年5月現在109団体)やセンターの役割については、センターより発行している登録団体ガイドブックをご覧ください。ガイドブック簡易版はセンター・市役所・公民館等で配布し、団体登録は随時受付しています。



センター公式 LINE に登録しませんか

当センター主催のイベントや登録団体の情報などを発信しています。



関地域福祉課

平時からの災害への備えについて



災害ボランティア養成講習会

社協では、令和5年3月19日(日)にイズミヤゆいテラス大目的スペースにて災害ボランティア養成講習会を開催し、42名の方が参加されました。河内長野市では平成29年・30年に台風による災害が発生しその後も、全国各地で災害が起き、現在もなお災害ボランティア活動による被災者支援活動が行われています。

特に風水害や地震による家屋への被害は深刻で、普段の暮らしに支障をきたします。高齢者や障がいのある方など災害弱者と呼ばれる方々にとっては、自力での復旧

が困難で支えあいの活動が必要となります。このことから少しでも災害に対する理解を深めていただく機会にと2部制で開催。

第1部では、災害によりどういった住民ニーズがあり、災害ボランティアセンターでどのような活動を行うのかを実践報告を通じて考える機会としました。また、第2部ではその困りごとにどのような資機材を使い、どう対応するのかを安全対策を含めて基礎的な技術を学ぶ実技講習を行いました。

参加者からは、「支え合いの大切さを学ぶことができた」、「今後災害が起きた際には災害ボラ

ンティアとして活動したい」など数多くの声を聞くことができました。

今後も災害について学べる研修・講習を企画して参りますので、皆様のご参加お待ちしております。



▲ 個人登録ボランティアの方によるブルーシート張り講習の様子 ▼



実践報告の様子



特定非営利活動法人PASによる実技講習の様子

※この講習会は赤い羽根「災害ボランティアNPO活動サポート募金」を活用して開催しました。



災害ボランティア登録をお願いします

災害はいつでもどこで起こるかわからず、他人事ではありません。被災者支援のため、社協では、ボランティアの受け入れや活動のコーディネートを行っています。詳しくは、右記のホームページをご覧ください。



障がい者福祉センター「キタバあかみね」からのお知らせ

河内長野市と株式会社せいぎ（キタバ薬局他運営）がネーミングライツ（愛称等の命名権）契約を締結しました。4月よりネーミングライツを開始、愛称が「あかみね」から「キタバあかみね」になりました。



●あかみね生活介護～新規利用者募集中～

必要な介護を提供し、創作的活動または生産活動の機会の提供などを行っています。見学や体験も随時受け入れています。

詳しくは「キタバあかみね」までお問い合わせください。

利用日：月～金（ただし国民の祝日、12月29日から1月3日までを除く）

利用時間：午前10時～午後4時

利用定員：20名

実施地域：河内長野市

対象者：障がい支援区分が3以上の方、50歳以上の場合は障がい支援区分2以上の方が対象になります。

●あかみね生活介護と一緒に働いてくれる方、募集中！

時間：月～金 午前9時～午後5時15分
（曜日、時間はご相談に応じます）

給与：時給1,023円

応募：まずはお気軽にお電話ください。



お問い合わせ

障がい者福祉センター「キタバあかみね」 河内長野市小山田町379-16
TEL.56-1590 FAX.56-1592 土・日・祝日・年末年始(12/28～1/4)は除く 午前9時～午後5時30分

就労継続支援B型事業所「オリーブ」カフェからのお知らせ

こんにちは！ カフェ オリーブです♪
イズミヤ4階ゆいテラスでお待ちしております♪

ドリンクはテイクアウトもできます♪



～モーニングサービス～

(AM10:00～12:00)
(トースト・ドリンク・ゆで卵付き)
300円



CAFE OLIVE



ハンバーグサンド 350円



ナポリタン 400円

お問い合わせ

就労継続支援B型事業所「オリーブ」 河内長野市喜多町663-1 イズミヤ河内長野店4階
カフェ営業時間：午前10時～午後4時(土・日・祝日・8/11～8/15・12/29～1/3を除く)
(ラストオーダーは午後3時30分まで)
TEL.64-9000 ※団体でのご注文の場合は事前にご予約ください。

令和4年度事業報告・決算

社協は、社会福祉法において「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として位置付けられ、地域福祉推進の中核機関としてコミュニティワーカーを配置した地域づくりや、災害時の対応、新型コロナウイルス特例貸付では生活困窮者支援の窓口となるなど、社会的に大きな役割と責任を果たしています。

そのような中、国において「重層的支援体制整備事業」が創設され、社協がその中核的役割を担うため、社会福祉施設連絡会、福祉団体、福祉サービス提供事業者、大阪府社会福祉協議会の「しあわせネットワーク」や専門機関・行政と密接に連携し、各相談支援機関との連携体制の構築をはじめ、多機関協働、アウトリーチを通じた継続的支援、参加支援の本格実施に向けた取り組みを行いました。

また、イズミヤ河内長野店4階の「地域まちづくり支援拠点」内に事務所を移転したことにより、福祉団体や福祉関係者をはじめ、民間事業者や多様な団体とともに連携を図りました。行政と社協が一体となって取り組む、地域づくりの基本となる河内長野市第4次地域福祉計画・河内長野市社会福祉協議会第3次地域福祉活動計画「かわちながの つながり・支えあい推進プラン」に基づき、地域課題を解決するため、福祉委員や民生委員・児童委員、ボランティア、地域団体、自治会関係者の参画と協力のもと、コロナ禍などの非常時でもつながりを絶やさないよう地域で持続可能な取り組みを進めました。

さらに、認知症高齢者の増加や成年後見制度の利用促進の動きを踏まえ、市域での包括的な支援体制構築の基盤となる権利擁護支援体制の構築を行うため、日常生活自立支援事業と成年後見制度の効果的な連携や、行政を主体とする総合的な権利擁護・相談支援体制の確立に向けた取り組みを行いました。

指定管理者制度に伴う事業においては、第4期指定管理事業者として、利用者本位の地域に密着したサービスの提供やさらなる事業の展開やサービスの向上に努めました。

併せて、本市の「思いやりとぬくもりのある人権尊重のまちづくり条例」に基づき、社会による排除や摩擦、偏見や孤立などをなくし、すべての住民が一人の人間として尊重され、共に支え合いながら安心して暮らせる地域社会の実現をめざし、令和4年度は以下のような事業を展開しました。

概要

▶地域福祉活動の推進

- 第2期「かわちながの つながり・支えあい推進プラン」に沿った地域福祉活動の推進（令和3年度から5年間の地域福祉計画・地域福祉活動計画）
- 市内15地区（校区）福祉委員会を基盤とした小地域ネットワーク活動の展開と支援（個別援助活動、グループ援助活動など）

- 講師派遣事業および福祉委員等パワーアップ事業の実施
- ボランティア・福祉委員等地域福祉人材育成事業の実施および福祉教育の推進
- 福祉レクリエーション用品の貸出し
- ボランティア活動への支援
- ボランティア・市民活動センター事業の展開
- NPO法人の設立や市民公益活動、まちづくり協議会への支援
- 登録団体ガイドブックおよびガイドブック簡易版の発行
- つながりフェスタの開催
- 公式LINEの運用 など
- 地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の構築など地域力強化推進事業の実施
- 高齢者生活支援体制整備事業の推進
- 協議体の開催と運営
- 生活支援コーディネーターによる支え合い活動への支援 など
- 市内37の社会福祉法人施設および社協で組織する「社会福祉施設連絡会」の加

入施設による地域貢献活動の実施

- 移動支援
- 福祉学習支援
- 福祉避難所運営対策 など
- 共同募金運動の実施
- 福祉団体への運営支援
- 災害ボランティアセンターの運営事業の展開
- 特定非営利活動法人PASとの災害発生時の支援協定の締結
- 災害ボランティア養成講習会（入門編、基礎編）の実施
- 車いすおよびスロープ付き自動車の貸出し
- ▶相談支援活動の実施
- 多機関協働による包括的相談支援体制の整備
- 地域相談支援員（CSW）による個別相談や地域の関係団体等と連携した地域の福祉課題の解決
- 福祉サービスの利用援助や地域自立支援協議会の運営、基幹相談支援センターの機能強化等障がい者生活支援事業の実施「ピアセンターかわちながの」の運営
- 心配ごと相談所の開設
- 日常生活自立支援事業（あんしんサポートサービス）の実施

令和4年度 資金収支決算

（単位：円）

収 入		支 出	
区 分	決 算 額	区 分	決 算 額
会 費 収 入	2,623,000	人 件 費 支 出	403,515,094
寄 付 金 収 入	1,814,938	事 業 費 支 出	32,350,224
経 常 経 費 補 助 金 収 入	83,593,155	事 務 費 支 出	73,447,379
受 託 金 収 入	243,612,720	就 労 支 援 事 業 支 出	7,107,388
事 業 収 入	1,073,057	助 成 金 支 出	12,830,716
介 護 保 険 事 業 収 入	52,027,917	負 担 金 支 出	4,073,770
就 労 支 援 事 業 収 入	7,526,677	そ の 他 の 支 出	127,990
障害福祉サービス等事業収入	144,167,665	固 定 資 産 取 得 支 出	1,106,615
受取利息配当金収入	1,775,092	積 立 資 産 支 出	43
そ の 他 の 収 入	994,863	そ の 他 の 活 動 に よ る 支 出	12,291,390
その他の活動による収入	904,200		
前期末支払資金残高	253,802,834	当期末支払資金残高	247,065,509
収入合計	793,916,118	支出合計	793,916,118

貸借対照表

令和5年3月31日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産		流動負債	
現金預金	254,203,909	事業未払金	40,622,163
事業未収金	33,458,850	預り金	45,000
商品・製品	45,983	固定負債	
立替金	69,913	退職給付引当金	179,659,360
固定資産			
土地(基本財産)	7,888,173	(負債の部 計)	220,326,523
定期預金(基本財産)	1,300,000	純 資 産 の 部	
土地(その他固定資産)	20,263,190	基本金	1,300,000
建物	10,735,294	福祉基金	110,901,000
構築物	938,461	国庫補助金等特別積立金	5
車輛運搬具	239,245	その他の積立金	138,784,032
器具及び備品	1,014,480	次期繰越活動増減差額	256,374,460
ソフトウェア	463,540	(うち当期活動増減差額)	495,445
退職手当積立基金預け金	147,379,950		
福祉基金積立資産	110,901,000		
人件費積立資産	25,885,534		
備品等購入積立資産	15,028,146		
運営基金積立資産	2,180,615		
介護支援推進事業積立資産	84,968,246		
施設整備等事業積立金	10,721,491	(純資産の部 計)	507,359,497
資産の部合計	727,686,020	負債及び純資産の部合計	727,686,020

- 生活困窮者家計改善支援事業の実施
- 生活福祉資金の貸付
- 新型コロナウイルス感染症特例貸付相談窓口の開設および支援資金の貸付およびフォローアップ、生活困窮者自立支援窓口との連携
- ▶福祉サービスの提供
- 障がい者就労継続支援B型事業所「オリープ」の運営
- 居宅介護支援事業の実施
- 訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業の実施
- 障がい者総合支援事業の実施
- 制度上では対応できない必要な「生活応援サービス」の実施
- 訪問介護型A事業従事者研修の開催
- 課題を抱える家庭への訪問支援事業の実施

▶施設の管理運営

- 福祉センター「キタバ錦深苑」での、生きがい、居場所づくり、福祉なんでも相談開催による地域貢献活動の実施、避難所の開設、福祉避難所運営マニュアルの策定
- 障がい者福祉センター「キタバあかみね」での、デイサービス事業、生活介護事業の展開、福祉避難所運営マニュアルを活用した防災・避難訓練の実施
- ▶法人の運営
- 役員定例会議の開催
- 理事会評議員会、委員会の開催
- 監事による監査の実施
- 理事・監事・評議員研修の実施
- 大阪府市町村社協連合会・河南ブロック社協連絡会への参画

- 社会福祉施設連絡会との協働
- 組織構成会員制の推進
- 賛助会員制の推進
- 広告料収入の増強
- 善意銀行、福祉基金の募集など、自主財源の確保
- 社協だより、ホームページ・ブログ・ツイッター、フェイスブックなどSNSによる情報発信
- 実習や短期インターンシップで学生の受け入れによる福祉人材の確保および育成
- 職員研修計画に基づく職員スキルアップおよび人権研修の実施による人材育成
- 人事・労務管理の充実
- 地域まちづくり支援拠点「イズミヤゆいテラス」を活用した運営基盤の強化・拡大および産・学・官・民の連携促進

令和5年度 事業計画・予算

人口減少社会が到来し、家族間や地域における支え合い機能が急速に変化する中、従来の福祉課題に加え、ヤングケアラーなど新たな課題も明らかになっています。

また、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行による経済・社会活動の制限が長期化したことや物価高騰により、深刻な生活困窮に直面する人びとが急増しており、今後の自立に向けた支援の構築が急務となっています。加えて頻発する大規模な自然災害への福祉的対応の強化も求められるなど、地域福祉を取り巻く環境は今まで経験したことのない大きな変化に直面しています。

そのような中、改正社会福祉法に基づき、地域住民が抱える困難な問題をワンストップで受け止める「包括的な支援体制」の整備が進められており、社協は、地域福祉推進の中核機関として、複合化・複雑化した地域生活課題へ対応するために、民生委員・児童委員、福祉委員、社会福祉法人・福祉施設等とより一層の連携・協働を図るとともに、保健・医療・教育・司法関係者や企業・NPO・ボランティア等の多様な組織・関係者との重層的かつ機能的な連携を図って参ります。

令和5年度は、コロナ禍により顕在化し

た生活・福祉課題への対応、とくに特例貸付に係る償還業務や貸付世帯へのフォローアップ業務の長期的な対応も含め、相談支援を進め、さらに、認知症や障がいにより判断能力が十分でない市民の権利擁護を推進するため、行政を主体とする総合的な権利擁護・相談支援体制を確立します。

一方、指定管理者制度に伴う事業におい

令和5年度資金収支予算

（単位：円）

収 入		支 出	
区 分	予 算 額	区 分	予 算 額
会 費 収 入	2,951,000	人 件 費 支 出	444,523,000
寄 付 金 収 入	1,815,000	事 業 費 支 出	46,491,000
経 常 経 費 補 助 金 収 入	94,926,000	事 務 費 支 出	82,007,000
受 託 金 収 入	270,710,000	就 労 支 援 事 業 支 出	7,373,000
事 業 収 入	1,107,000	助 成 金 支 出	13,157,000
介護保険事業収入	52,964,000	負 担 金 支 出	3,618,000
就 労 支 援 事 業 収 入	6,800,000	施 設 整 備 等 支 出	2,000,000
障がい福祉サービス等事業収入	143,568,000	そ の 他 の 活 動 に よ る 支 出	18,125,000
受取利息配当金収入	1,792,000	予 備 費	27,996,000
そ の 他 収 入	685,000		
施設整備補助金等収入	500,000		
その他の活動による収入	0		
前期末支払資金残高	150,817,500	当期末支払資金残高	83,345,500
収入合計	728,635,500	支出合計	728,635,500

※前期末支払資金残高は令和4年度決算の見込額

重点目標

だれもが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを進めるため、令和5年度は、以下の重点目標を定めています。

❖地域福祉課

①「かわちながの つながり・支えあい推進プラン」の推進

- 地域活動者が地域目標について共有し話し合うための場の開催
- コロナ禍でもつながりを絶やさない地域共生社会の実現の推進

②地域力強化推進事業の推進

- 地域パートナー（地域担当職員）による地域の団体を繋げるための支援

③ボランティア・市民活動センター事業の推進

- 団体への情報発信および協働事業や講座の開催など活動再開支援やスキルアップ支援
- 地域福祉に参画する団体同士が繋がるための支援

❖相談支援課

地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備の推進

- 相談支援体制の一体化と参加支援・地域づくりを併せた重層的支援体制整備の推進

❖在宅福祉課

事業所活動の更なる充実

- 感染症や災害時におけるBCP（業務継続計画）の策定

❖福祉センター「キタバ錦深苑」

- 避難所運営マニュアルを活用した「防災・避難訓練」の実施

❖障がい者福祉センター「キタバあかみね」

- 地域活動支援センター開設に向けた協議

❖企画総務課

社協運営基盤の強化・拡大

- 法人のBCP（事業継続計画）の策定
- 地域共生社会の実現に向けた河内長野市地域まちづくり支援拠点『イズミヤゆいテラス河内長野』の有効活用と行政、企業、学校、社会福祉施設、団体、組織との協働による誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現

Information



女性の電話相談(さざんかの会)

一人で悩んでいませんか？気になること、聞いてほしいこと。どんなことでもいいですよ。電話でお話ししてみませんか？

相談無料
秘密厳守

070-4231-4400

番号非通知ご希望の方は、184をつけておかけください

日時 毎週木曜日（年末年始・祝日は休み）
午前11時～午後2時30分
「さざんかの会」の活動にご興味のある方は、お問い合わせください。
岡地域福祉課

おしゃべりコールの利用者を募集しています！



ひとり暮らしの高齢者や高齢夫婦のご自宅に毎週安否確認の電話をかけることで、孤立感を和らげ安心して過ごしていただくことを目的とした試みです。この取り組みはボランティア連絡会の会員が利用者へ、電話で安否確認を兼ねて15分程度話をお聴きするものです。定期的な電話による声かけ（安否確認）を利用希望の方は、お問合せください。
岡地域福祉課



（令和4年11月～5年4月分）
（順不同・敬称略）

☆一般寄付 計1,486,376円
栄町地藏盆・日本基督教団河内長野教会・ハロービューティー・匿名3件

☆善意銀行

○現金 計160,144円

指定預託 ▽障がい者福祉センター「キタバあかみね」へ《南海ウイングバス金岡株式会社》▽ごはんやday～チーム市町～へ《匿名4件》▽車椅子貸出事業へ《匿名2件》

○物品

一般預託 ▽渡邊清美・浄土真宗本願寺派大阪教区石川南組寺族婦人会連盟・NPO法人里山ひだまりファーム・喜多伸行・匿名6件

社協を支えていただけませんか！



社協の組織構成会員募集

本会は広く住民に開かれた組織として、現在、市内の75の団体・機関・事業者組織構成会員として加入していただいています。

会員は評議員の選出団体になるなど、様々な立場から社協の運営、事業に参画していただけます。

組織構成会員会費 5,000円（1口年額）

社協の賛助会員募集

社協の趣旨および目的に賛同し、その事業に参加しながら財政面で社協を支える会員です。

【個人】 特別賛助会員 1,000円 **【法人・団体】 法人賛助会員 5,000円** **いずれも1口年額**

※本会への寄付金については、税額控除制度の適用を受けることができます。制度の詳細など問い合わせは本会まで連絡ください。

岡企画総務課

社会福祉法人 **河内長野市社会福祉協議会**

〒586-0033 河内長野市喜多町663-1

イズミヤ河内長野店4階内

TEL. 0721-65-0133(代表) FAX. 0721-65-0143

次号は
令和5年10月1日発行予定

「協賛広告」募集！
詳細は社協へ

● ご意見・ご感想をお寄せください ●



<http://www.kawachinaganoshishakyo.or.jp/>

<http://ksyakyou.blog90.fc2.com/>

<https://twitter.com/ksyakyou>

<http://kawachinaganoshishakyo.or.jp/zaitaku/>

<http://www.kawachinaganoshishakyo.or.jp/peer/>

<http://www.pure.ne.jp/~akamine/>

<http://business4.plala.or.jp/kinkeien/>



この広報誌の発行には赤い羽根共同募金助成金の一部を活用させていただいています。